

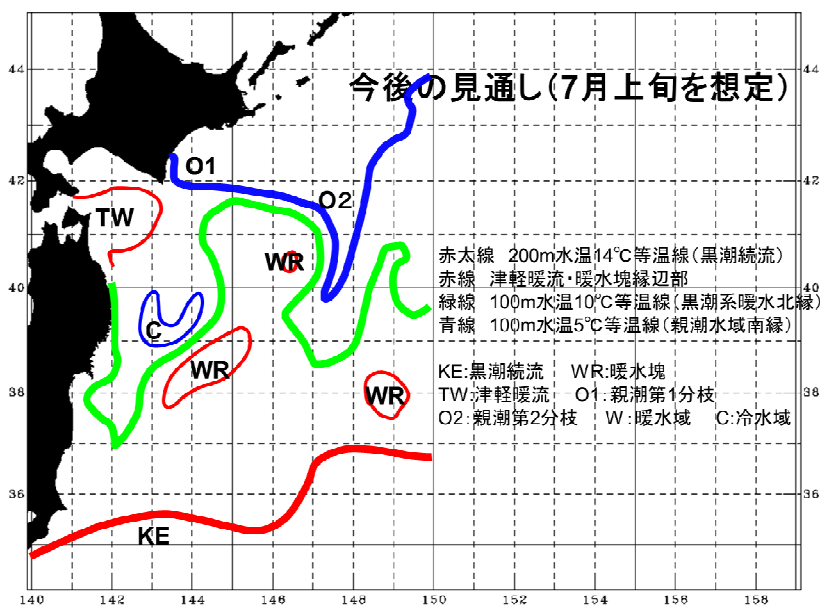


2020年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2020年6月下旬~7月)のポイント

- ・ 近海の黒潮統流の北限位置は平年並みから極めて北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所
担当：業務推進部 黒川、佐藤
生産環境部 塚本、東屋
電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度東北海区海況予報 第2号

《今後の見通し（2020年6月下旬～7月）》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みから極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。黒崎沖の暖水塊は停滞し、三陸はるか沖の暖水塊は南下する。金華山沖に暖水塊が形成される。

《海況の経過（2020年4月～2020年5月下旬）の特徴》

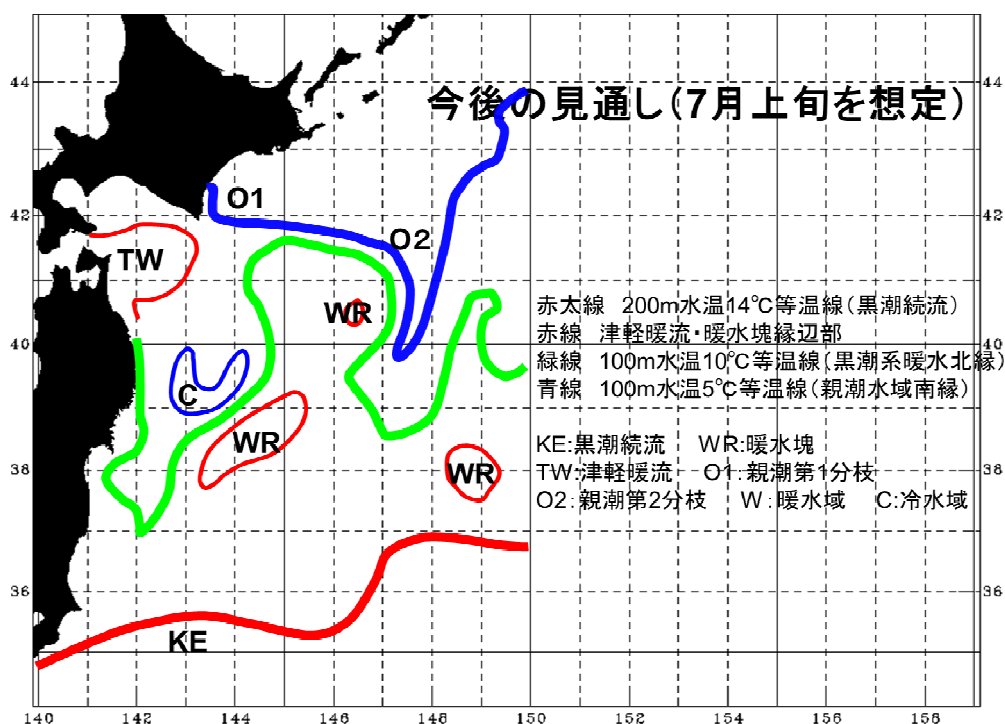
近海の黒潮続流の北限位置は、やや北偏から極めて北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しは、極めて北偏で推移した。黒崎沖、三陸はるか沖の暖水塊は停滞した。三陸沖の冷水域は停滞した。

《現況（2020年6月上旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置は極めて北偏、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏である。暖水塊が黒崎沖、三陸はるか沖にある。冷水域が三陸沖にある。

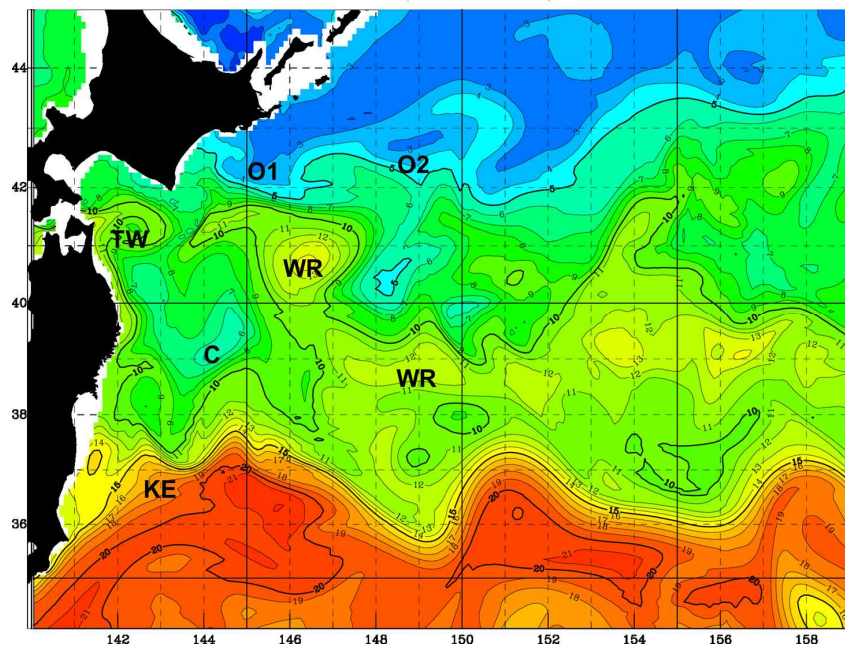
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬の現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2020/0601 - 2020/0606



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

| | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所 |
| 岩手県水産技術センター | (取りまとめ機関) |
| 宮城県水産技術総合センター | 国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所 |
| 福島県水産海洋研究センター | |
| 茨城県水産試験場 | |